

ルワンダ月報（2026年5月）

※以下は、ルワンダに関する主要報道の取りまとめ。

1. 政治・外交

今月のカガメ大統領の主要な動きは以下のとおり。

- 3日、タンザニアを訪問しサミア・タンザニア大統領と二国間会談実施。貿易・投資・インフラ分野における二国間協力を再確認。
- 6～7日、ボコ・ボツワナ大統領の招待を受け、ボツワナへ公式国賓訪問。両大統領は二重課税回避、特定のパスポート保持者に対する査証免除、航空サービス、保健、貿易・投資等における6つの協力協定に署名。
- 11日、ナイロビを訪問し、アフリカ・フォワード・サミット初回会合に出席。同会合は、ルト・ケニア大統領とマクロン仏大統領が共同議長を務め、貿易・投資・技術分野におけるフランスとアフリカの協力強化を目的として開催。
- 12日、ナイロビにてラリオ国際農業開発基金（IFAD）総裁と会談。
- 13日、キガリにてティヌブ・ナイジェリア大統領、ニヤシンベ・トーゴ閣僚評議会議長、ガズワニ・モーリタニア大統領、及びチャポ・モザンビーク大統領と二国間会談。
- 14日、キガリにて開催されたアフリカCEOフォーラムに出席。併せて、14日、ンゲマ・ガボン大統領と会談。15日、ドゥンブヤ・ギニア大統領及びハオラテ・ボツワナ副大統領と二国間会談を実施。
- 19～21日にキガリにて開催された第2回アフリカ原子力エネルギー・イノベーション・サミット（NEISA）に出席。併せて、19日にニヤシンベ・トーゴ大統領と会談及びサミア・タンザニア大統領とエネルギー分野における協力強化のための覚書（MoU）締結。グロッシIAEA事務局長と会談。
- 23日、オクラホマ・クリスチャン大学とルワンダのパートナーシップ締結20周年を記念する祝賀行事に出席。
- 24日、ドーハにてタミーム・カタール首長と二国間会談を実施し、協力関係を再確認。
- 27日、キガリ市東部のギシャリにある警察訓練学校で開催されたルワンダ国家警察（RNP）25周年記念式に出席。

外交に関し、

- 3日、ンセンギユムバ首相はガボンにて、ガボン大統領が主催したリーブルビル国際会議場の落成式典に、他国の首脳らとともに出席。4日にはルワンダ出身ディアスポラと面会。
- 4～5日、カガメ大統領の国賓訪問に先立ち、ンドゥフンギレへ外相は、第二回ボツワナ・ルワンダ二国間常設協力委員会（JPCC）会合に出席。
- 8日、ンドゥフンギレへ外相は、ベレン・カルボ・ウジャラ・駐ルワンダEU大使公邸で開かれたヨーロッパ・デー祝典行事に出席。
- 10日、ジブチにてゲレ・ジブチ大統領の就任式に出席。

- 11日、ナイロビで開催されたアフリカ・フォワード・サミットの傍らで、ンドゥフンギレ外相はチャポンダ・マラウイ外相と二国会談実施。
- 11日、キガリにてガソレ・インフラ大臣とカンナ国際太陽光同盟（ISA）事務局長は、国家パートナーシップ枠組み（CPF）に署名。同署名は、再生可能エネルギー分野における協力強化と、強靱で低炭素なエネルギーシステムへの移行加速に向けたもの。
- 12日、ンセンギユムバ首相はカンパラを訪問し、ウガンダ共和国のムセベニ大統領の就任式に参加。
- 12日、ルワンダ国防軍（RDF）は、ナイジェリア国防大学士官15名含む代表団受入。
- 19日、カイトシ外務・国際協力担当国務大臣とソルダーマン米国務省軍備管理・不拡散局上級副次官補代行により、両国間で戦略的民生核協力に関する覚書（MoU）署名。
- 19日、ガソレ・インフラ大臣（ルワンダ）とンデジェンビ・エネルギー大臣（タンザニア）により、両国間のエネルギー分野における協力強化を目的とした覚書（MoU）署名。
- 20日、ガソレ・インフラ大臣とグロッシー IAEA 事務局長は核エネルギー計画推進に向けた協定を署名。
- 20日、ンドゥフンギレ外相は、モロッコのラバトで開催されたフランコフォニー国際会議（OIF）の平和維持活動に関する第2回閣僚会議に出席。
- 25日、ガソレ・インフラ大臣はポルティージョ・ホンジュラス副大統領とキガリにてインフラ開発における協力分野について協議。
- 25日、ンセンギユムバ首相は、コンゴ共和国のブラザビルで開催されたアフリカ解放記念日の祝賀行事に出席。
- 28日、ンドゥフンギレ外相は、在ルワンダ・イスラエル大使館主催のイスラエル建国78周年記念式典に出席。両国関係は、共通の価値観と相互尊重を基盤に築かれていると言及。

内政に関し、

- 5日、ンセンギマナ教育大臣は高等教育評議会（HEC）を通じて、当地の高等教育の質・関連性・国際競争力強化を目的とした全国の高等教育機関を対象とするプログラムを開始。
- 5日、キガリにて、財務経済計画省はZEP-RE（ナイロビ本社：再保険会社）と共同で、2026年次総会の開会式開催。
- 5日、仮想資産法案が承認。同法案を通じて、デジタル金融を制度化し、アフリカのFinTech分野におけるルワンダの地位を確立することが企図されている。
- 12日、ウギリシェブジャ法務大臣は、予算審議会にて法律扶助サービスの拡充、法科学捜査の強化に係わる予算増加を要求。
- 13日、セバヒジ貿易産業大臣は、予算審議会にて国家皮革なめし工業団地の建設地をブゲセラ郡からギチュンビ郡に変更することを発表。

コンゴ（民）東部問題に関し、

● 29日、ンドゥフンギレヘ外相はコンゴ（民）東部の紛争に関し、ルワンダは和平プロセスへの関与を継続していると述べる一方、国際社会に対し、具体的な成果をもたらすような建設的な関与を求めると言及。

2. 経済

● 10日に公表された都市部消費者物価指数CPI報告書によると、最も大きな価格上昇が記録されたのは、医療、交通、住宅、およびエネルギー関連費用の分野。医療費は2025年4月と比較して70%上昇し、交通費は23.7%上昇。住宅・水道・電気・ガス・その他燃料費は21.3%上昇。

● 15日、アフリカCEOフォーラムにて、ルワンダ開発銀行（BRD）とイタリアの金融機関であるカッサ・デポジティ・エ・プレスティティ（CDP）は当地における気候変動に強靱な持続可能な開発プロジェクト支援を目的として3000万ユーロの融資協定を締結。

● 21日、ルワンダ中央銀行が政策金利を7.25%から8.25%に引き上げた。4月のインフレ率が前月の9.2%から13%に上がり、物価上昇抑制が目的。

● 26日、トリニティ・メタルズ(Trinity Metals)社は、鉱物資源の拡大と長期的なタンゲステン生産の支援を目的として、北部ルリンド地区のニャカビンゴ鉱山において掘削プログラムを開始。

● 26日、アフリカ開発銀行（AfDB）は、東アフリカの経済成長率は2026年には5.9%だが2027年には6.4%になり、アフリカで最も成長の早い地域となるとの予測を発表。

● 27日、アフリカ開発銀行（AfDB）は、アフリカにおける中小企業の債務不履行（デフォルト）率は平均8～10%と安定しているが、多くの銀行は依然中小企業をハイリスクな借り手と認識しており、融資条件に影響していると発表。

● 28～31日にカンボジア・プノンペンで開催された第28回フランコフォニー諸国中央銀行総裁会議においてルワンダ国立銀行（BNR）とカンボジア国立銀行は、両国間のデジタル金融連携強化を目的とした越境決済協力を発表。

3. その他

● 22日、ルワンダ保健省はコンゴ（民）におけるエボラ出血熱の流行を受け、入国管理措置を強化したと発表。

● 25日、第62回アフリカ解放記念日を祝し、キガリにて開発課題に対するアフリカ主導の解決策等に係るハイレベル会議が開催。

● 31日、第13回ユースフォーラム「イギハンゴ・ス・ウルンガノ」においてハレリマナ国防省デジタル化局長はジェノサイドに関するイデオロギーはSNSやAIによって拡散していると警告。